



2022年6月16日

各位

会社名 株式会社 エアトリ
 代表者名 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕 亮
 (コード番号: 6191 東証プライム)
 問合せ先 代表取締役社長 兼 CFO 柴田 裕 亮
 (TEL. 03-3431-6191)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年3月15日に公表した2022年9月期(2021年10月1日～2022年9月30日)の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年9月期 通期 連結業績予想数値の修正 (2021年10月1日～2022年9月30日)

(単位: 百万円)

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 親会社の所有者に帰属する当期利益 | 1株当たり当期純利益 (円 銭) |
|--------------------------|--------|-------|-------|------------------|---------------------|
| 前回発表予想(A) | 14,000 | 2,000 | 1,900 | 1,400 | 63.29 |
| 今回修正予想(B) | 14,500 | 2,600 | 2,470 | 1,820 | 82.28 |
| 増減額(B-A) | 500 | 600 | 570 | 420 | — |
| 増減率(%) | 3.5% | 30.0% | 30.0% | 30.0% | — |
| (ご参考) 前期実績 (2021年9月期) | 17,524 | 3,142 | 3,043 | 2,372 | 112.15 |

2. 修正の理由

前回の通期連結業績予想の上方修正(2022年3月15日)以降、まん延防止等重点措置等が全面解除され、エアトリ旅行事業の国内旅行分野は回復傾向にあり、海外旅行分野に関しても底打ちの兆しを見せている状況にあります。また、その他の既存事業領域に関しては、アフターコロナへ向けた新たな需要獲得等により、総じて好調・堅調となっています。

2022年9月期第2四半期の営業利益は1,477百万円と実質過去最高水準となり、エアトリ旅行事業の国内旅行領域が好調・堅調に推移し、エアトリ旅行事業以外の既存事業(ITオフショア開発事業、訪日旅行事業・Wi-Fiレンタル事業、メディア事業、投資事業)もいずれも好調・堅調に推移いたしました。

また、第3四半期に入って以降、エアトリ旅行事業の特に国内旅行分野における需要がさらに回復傾向にあり、当社のこれまでのエアトリブランドやシステムへの投資や講じてきた各種施策の成果が出ている状況にあります。

エアトリ旅行事業以外の既存事業は引き続き好調・堅調に推移しています。エアトリグループの“リ・スタート”により、前々期より取り組んできた各種施策およびコスト削減の成果が継続して実現し、グループ内の事業ポートフォリオの分散および再構築が進んでいます。

以上より、2022年9月期の通期の連結業績予想は、上記既存事業の好調な推移により、売上収益の増加及び各段階損益が増加すると見込まれることから、前回公表した業績予想を上方修正いたしました。

(注) 上記業績予想につきまして、現時点で入手可能な情報に基づき判断及び仮定を行っており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。様々な要因には、今後の新型コロナウイルスの世界的な感染状況及びこれに対する政府等の対応により影響を受ける可能性があることが含まれます。

以上